平成26年度

科目区分・分類	専門・講義	対象学科名・学年	電子情報2年	科目コード	29400300
科目名	情報処理　Information Processing				
担当教員	大矢　健一,荒井　善昭				
単位数（時間数）	必修　通年　2単位　（60時間）	学習・教育目標との対応	(C-2)(D-2)		
授業の目的と概要	C言語を用いてプログラミング技術を習得するとともに， データ構造とアルゴリズムおよびファイル処理の基礎など， システム設計に必要な知識を修得する．				
先修科目	電子情報工学概論				
後修科目	マイクロコンピュータ，コンパイラ，アルゴリズムとデータ構造				
備考	1年次に修得した情報処理基礎の知識を必要とする． また，電子情報工学棟2Fの情報処理実習室のパソコン環境を修得しているものとして 演習を行う．				

	授業項目	時間	内容
1	Ｃ言語概要	2	Ｃ言語のデータ型・代入が理解でき， コンパイルと実行ができる．
2	制御の流れ	8	if-else・while・for・switch 文を理解し、 正しいコードが書ける．
3	関数	10	関数を理解し，引数・戻り値を理解し， 正しいコードが書ける．
4	配列	8	配列を理解し，正しいコードが書ける．
5	まとめ	2	これまでの授業をもとに総合的な課題を実行できる．
6	ポインタ	8	ポインタの使い方を理解し使える
7	文字列操作	6	文字列操作のコードが書ける．
8	構造体と共用体	10	構造体および共用体の扱いを理解し，正しいコード が書ける．
9	ファイル処理	4	標準入出力関数，ファイル操作関数を用いたプログ ラムが作成できる．
10	まとめ	2	これまでの授業内容を総合的に理解できる．
	学年末試験		

学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	基礎的なC言語のプログラムを読むことができ， また，「順次・選択・反復」の基本三構造を意識したプログラミングができる（C-2）． モジュールを意識したプログラミングが作成でき，具体的な事例に適用できる（D-2）．
成績評価	前期はレポート(100%)で評価する． 後期は定期試験の成績（70%）と授業毎に与える課題（30%）を 総合的に判断して評価する． 上記（C-2）が70%，（D-2）が30%の重みで成績を評価し， 前期，後期ともそれぞれ6割以上の得点で合格とする．
教材	教科書：柴田望洋「新版 明解C言語 入門編」，ソフトバンククリエイティブ．
オフィスアワー	月曜日16:00～17:00，電子情報工学科4F第7教員室(大矢) 水曜日16:00～17:00，電子情報工学科3F第5教員室（荒井）